

市民交流施設について

市民交流施設の利活用の検討に当たっての視点・考え方

市民交流施設利活用検討会では、以下のような視点や考え方で市民交流施設の利活用について検討しました。

- ① 野幌駅南口に隣接した立地条件を活かした交流の場
- ② 子どもから高齢者まで、市民はもとより留学生や外国人技能実習生、ホテルに宿泊する観光客など、多様な利用者を想定し、発展性・継続性のある利活用
- ③ 開放感にあふれた空間

市民交流施設の利活用（案）

※入居予定の市民活動センター、国際センターの現在の活動を継続しながら

- ① ふらっと気軽に立ち寄れる場
 - ・フリーWi-Fiの設置
 - ・待ち合わせ場所として活用
 - ・商店街と連動したスタンプラリー等の仕掛け
- ② にぎわいを創出する場
 - ・バザー、フリーマーケット、ファーマーズマーケットの開催
 - ・四季の広場を季節ごとに飾り付け
- ③ 多世代・多国籍の交流ができる場
 - ・高齢者が外出するきっかけ
 - ・留学生向けイベントや民間企業の外国人技能実習生向け日本語教室の開催
- ④ 様々な活動ができる場
 - ・会議室を市民活動団体の活動・語学教室の開催のほか、一般の人も利用可能に
 - ・大学サテライト教室としての活用
 - ・交流サロンを活用した各団体の活動発表
 - ・風除室をギャラリーとした作品の展示
 - ・音楽イベントなどを通じた大学や高校間の交流
- ⑤ 江別の魅力を発信する場
 - ・江別の観光案内
 - ・四季の広場でのイベントを通して江別の魅力発信